



# 漁船海難撲滅



秋季安全推進活動 10月1日(木)～31日(土)

## 仙崎管内発生海難事例

今年は体調不良による海難が多くなっています。体調管理には気を付けて**こまめ**に休憩を取るなどの対策を行ってください。

### 【事例1】 有人漂流

沖合で航行中、**突然体調を崩して**動けなくなり、  
運航不能(有人漂流)となった。

**付近通行船の通報**により船長は救助された。



### 【事例2】 衝突

港内でプレジャーボートと漁船が  
両船長の**不注意**により正面衝突した。衝突の際、  
プレジャーボート船長は軽傷を負った。



### 【事例3】 無人漂流

漁港岸壁沖にて無人の船と、うつ伏せで漂流  
する船長を発見した。引き上げ後に調査したところ、  
船長は**体調を崩して**海中転落し、溺死したとされた。



(お問い合わせ先)仙崎海上保安部交通課

☎ 0837-26-3168

✉ [jcg7-senzaki-2e8j@ki.milt.go.jp](mailto:jcg7-senzaki-2e8j@ki.milt.go.jp)

今年の浸水海難で船に積んでいた**救命胴衣が流される**事案がありました。用意するだけではなく、しっかり着用して安全操業を行ってください。  
また、**発航前検査**も重要です。

## ライフジャケットのメンテナンス

きちんとメンテナンスしないと、いざという時に役に立たず、身を守るできません。特に膨脹式の場合にはメンテナンスが欠かせません。導入するときから、メンテナンスのことを考えておきましょう。（以下はその一例です。必ずメーカーや販売店の指示とおり行いましょう。）

### (1) ライフジャケット導入時

ライフジャケットの種類によっては、ライフジャケットの機能を維持するために定期的なメンテナンスが必要な場合があります。また、メンテナンスには費用が発生します。導入する際には必ず、メンテナンスの頻度、方法、費用を確認するようにしましょう。販売店で確認できない場合には、直接メーカーに問い合わせましょう。

### (2) ライフジャケットのメンテナンス

ライフジャケットのメンテナンスは、メーカーが指定する頻度や方法を必ず守って行いましょう。自己流の方法でメンテナンスをするとライフジャケットが正常に機能しないおそれがあります。正しい知識を身に付けましょう。

### (3) メンテナンスのポイント

メンテナンスの事項として以下のようなものがあります。（あくまで例ですので、必ずメーカー、販売店で確認してください。）

- ・【膨脹式】①ガスポンベのチェック及び定期更新  
②スプール等のチェック及び定期更新  
③空気漏れのチェック  
④損傷のチェック（バックル、ベルト及び作動索等）
- ・【固形式】浮力体の変形のチェック等
- ・【空気密封式】浮力体の破損のチェック等

### (4) 普段からできること

帰港後に次の出漁に備えて汚れを落としたり、外観上の損傷の有無の確認をするなど、自分で簡単にできることもあります。普段からできることをやるように心がけていきましょう。

-24-

## 4. 膨脹式ライフジャケットの保守・点検

メーカーの取扱説明書に従って「定期点検」を必ず実施し、さらに次のような点に注意し日常点検を心がけましょう。

### (1) 着用前の注意事項

#### 首かけタイプ



本体又は付属品の縫製系がほつれたり、切れたりしていませんか？

注中の気室布が破損していませんか？

ベルトが破損していませんか？

バックルが破損していませんか？

作動索は外に出ていませんか？

#### 胴衣本体の主な点検箇所

#### ボートタイプ



バックルが破損していませんか？

ベルトが破損していませんか？

注カバースト又は中の気室布が破損していませんか？

作動索は外に出ていませんか？

#### ベルトタイプ



⚠ 作動索を膨脹式救命胴衣本体内部に格納することは絶対にしないでください。

注：気室布（浮力部）は、補助送気管から口で膨らませ空気漏れを確認できます。

-25-

資料：日本小型船舶検査機構

下記のQRコードもチェック!!

ウォーターセーフティーガイド



海上保安庁のXも見てね～

第七管区  
海上保安本部 X



(お問い合わせ先)仙崎海上保安部交通課

☎ 0837-26-3168

✉ [jcg7-senzaki-2e8j@ki.milt.go.jp](mailto:jcg7-senzaki-2e8j@ki.milt.go.jp)